

新型コロナウイルス感染症対応についての確認事項（松江工業高等専門学校）

1。新型コロナウイルス感染症に対応して、教育課程の実施、授業の方法等について、学生の学習の質を維持するために行った取組の概要を確認したい。

回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
4月7日（火）から2日間授業、健康診断、春休み課題試験を実施後、4月13日（月）～5月10日（日）まで臨時休校とし、遠隔授業のための準備（ネットワークシステム構築、行事予定、時間割の作成、学生のPC及びインターネット環境保有調査、貸与ノートPC、貸与ルータ等の手配、教員向け授業動画作成・公開方法の講習会など）を実施した。 また、集中講義及び後期の対面授業再開に向けて、登校における新型コロナウイルス感染症対策指針を作成し、学生に周知した	登校における新型コロナウイルス感染症対策指針
5月11（月）～5月15日（金）までに新入生オリエンテーション、遠隔授業ガイダンス等を遠隔形式で実施し、5月18日（月）から実験実習を除いた科目について、オンデマンド方式の遠隔授業を実施した（約70名の学生にノートPC貸与、約20名の学生にリモートルータを貸与）。	資料なし
遠隔授業の実施環境は学内に設置したLMS(学習マネジメントシステム)であるMoodleサーバ、遠隔授業動画の保存先をGoogle Educationを活用した。6月から専攻科生の工学研究、本科5年生の卒業研究を許可した。 また、インターンシップは緊急事態宣言が発令されていない地域（あるいは緊急事態宣言が発令されている地域を経由しない地域）に対して許可した。	資料なし
前期実験実習、後期実験実習については8月31日（月）～10月30日（金）までに集中講義（対面式）の形で実施する時間割を策定した。 クラス単位で集中講義の期間が異なり、分散登校の形式となっている。	資料なし

2。新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の学習及び生活の支援について行った取組の概要を確認したい。

回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
遠隔授業を受講するための設備を保有しない学生を調査し、設備が不足する学生に対してノートPC（約70台）、リモートルータ（約20名）を貸与した。	資料なし
遠隔授業を全学生に受講させるために、5月11日（月）～5月15日（金）までに自宅でのICT環境を調査し、全学生が視聴可能になるまで技術的なサポートを徹底した。また、遠隔授業を学校で受講することも許可しており、一部の学生（10名前後）の学生が学校の情報処理実習室で遠隔授業を受講した。	資料なし
学級担任・アドバイザーが遠隔授業実施期間中に定期的に学生の状況確認を実施し、遠隔授業への出席ができていない学生、授業についてこれていない学生、レポート提出が滞っている学生などを調査して指導を行った。また、対面授業再開後（8月31日（月）以降）で、上級生のTAによる個別指導（ピアサポート）を実施し、学习上問題を抱えている学生、レポートが提出できていない学生に対して手厚い指導を実施している。	資料なし

3。新型コロナウイルス感染症に対応して、寮における安全対応について行った取組の概要を確認したい。

回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
学校の分散登校に合わせて、分散開寮を行った。	直野寮における新型コロナウイルス感染症対策指針（P.2）
複数人部屋に間仕切りのカーテンを設置、3人部屋を2人部屋に変更した。	直野寮における新型コロナウイルス感染症対策指針（P.2）
Webアプリケーションにより、体温の記録を義務付けた。	直野寮における新型コロナウイルス感染症対策指針（P.3）
食事は学年ごとのローテーションにより食事時間を指定、ご飯等は個別に提供、食事は席を空けて着席にした。風呂の使用時間を学年あるいは号館階によって分けた。	直野寮における新型コロナウイルス感染症対策指針（P.3）
消毒・清掃を毎日実施するための消毒液・清掃道具などを新たに準備した。	直野寮における新型コロナウイルス感染症対策指針（P.3）

4。新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の課外活動について行った取組の概要を確認したい。

回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
各部・同好会・コンテストに手指消毒用スプレーと用具消毒用次亜塩素酸水とペーパータオルを配布。	
トレーニングルームは使用時間を限定し、掲示を行った上で、3密を避け使用後の消毒を徹底。	【掲示用】令和2年度後期の施設利用
マイクロバス・大型バスの使用人数は定員の半数程度とし、換気をこまめにするよう指導。	
外部の施設利用者については、前期は使用禁止、後期から健康状態申告書を提出した上での利用を許可。	健康状況報告書

5。新型コロナウイルス感染症への対応として、遠隔授業に関するFDの実施により、教育の質の向上や授業の改善に結び付いている事実があるか確認したい。

回答欄	根拠資料・データ（事実がある場合は提出してください）
遠隔授業実施かかる教員に講習会を下記の日程で実施した。 4/30（木）10:00-11:30（初級編） 4/30（木）10:00-11:30（著作権、コンテンツ収録方法） 4/30（木）13:30-15:00（中級編） 5/1（金）10:30-11:30（著作権、コンテンツ収録方法） 5/1（金）13:30-15:00（上級編）	資料なし
上記講習会の内容 （初級編）LMSへのログイン方法+画面の見方、編集モードと閲覧モード、 ファイルのアップロード、URLの設置な主にリソース関係、 課題の提出、回収、活動モジュールのコピーの方法、グループ化 （中級編）LMSでの出席管理、面談（スケジューラ）管理、フィードバック（アンケート） 投票など主に活動モジュール関係 （上級編）LMSでの成績（評定表）管理、小テスト、フォーラムなど主に採点に繋がる モジュール関係 （著作権、コンテンツ収録方法）遠隔授業における著作権、コンテンツ収録・加工方法	資料なし
上記講習会により、常勤教員、非常勤教員のほぼすべてが動画収録方法、動画加工方法、公開方法、学内LMSの使用方法等を学んだ。今年度実施の全科目がLMSに登録されており、結果として、普段の授業でも課題提示、課題提出、小テスト実施等での利用が行われている。	資料なし
上記の授業の質の向上や改善に結びついた事例は今後調査する予定であるが、学生・教職員ともにICTスキルが向上したため、遠隔授業で利用したシステムを反転授業や社会人教育、授業欠席時の補習教材としての活用が今後想定される。	資料なし